

会議の名称	平成30年度第2回加東市地域密着型サービス運営委員会
開催日時	平成31年3月15日（金） 午後2時30分から3時00分まで
開催場所	加東市役所 3階 302会議室
委員長の氏名（澤井英昭） 出席委員の氏名 田渕光 西田俊哉 山口雅隆 河合邦彦 井上朱実 小林邦子 松本多美子 欠席委員の氏名 小野圭三 武中千鶴子	
説明のため出席した者の職氏名	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 高齢介護課長 鈴木敏久 副課長 平野好美 係長 三和田剛浩 主査 小林奈穂	
議題、会議結果、会議の経過及び資料名 開 会 1 挨拶 2 【議題】 地域密着型サービスの事業者選考について 事務局から説明資料1に基づき説明 【質疑】 委員長 説明が終わりましたので、質疑に入りたいと思います。 何か質疑のおありの方いらっしゃいましたら挙手をお願いしたいと思います。 【質疑なし】 委員長 質疑がないようですので、この議案について異議はございませんか。 【異議なし】 委員長 異議はないようですので、承認いただいたものとさせていただきます。 【報告】 地域密着型サービスの利用状況について 事務局から説明資料2に基づき説明	

【質疑】

委員長 事務局からの説明が終わりましたので、質疑に入ります。

質疑のある委員の方は挙手をお願いします。

委員 小規模多機能については3事業所ありますが、定員29名のところ3事業所とも定員に満たないが、これで充足しているといえるのでしょうか。

事務局 入所系のサービスであれば、定員を満たさないといけないというところがある。しかし小規模多機能については、登録定員29名であり、実際にはこのぐらいでなければなかなか回せないという現実がある。通いは15名の定員で、泊まりは9部屋しかない。小規模多機能の利点は、登録いただくと自由に通いや訪問や泊まりを組み合わせるものであり、あまり登録定員が多いと、なかなか泊まりが利用できないとか、訪問できないときが発生してしまう。実際にはこれぐらいがちょうどよいのではと判断する。

委員 実際にはこのぐらいで需要と供給のバランスが取れているということですね。

事務局 そのとおりです。

委員 地域密着型通所介護は以前から利用している方がいるので、市外の事業所があるとのことだが、お亡くなりになられたり、市内の事業所を利用するなど、今後は増えないし、どんどん市外事業所は減っていくということか。

事務局 平成28年度当初はもう少しあったが、少しずつ減っていくということであり、新規の方は出来る限り市内の事業所を利用していただくということである。

委員 同じことで、認知症対応型共同生活介護も1事業所市外の事業所があるが、同様に以前から入所されている方か。

事務局 グループホームについては平成18年4月から地域密着型サービスとなり、それ以前から利用の方は可能となるが、地域密着型サービスには市外の事業所を使う場合として、どうしてもやむを得ない場合には市町間で同意を得て利用可能というのがある。グループホームの場合、施設が満床で急遽入所しなければいけないという場合に、市町が隣接しており、やむを得ない事情がある場合にその人に関してのみ認めるというものであり、この方はそのケースである。

委員 ちなみにこのグループホームはどこにあるのですか。

事務局 加西市にあります。

委員 隣接しているので、加西市をお願いしているということですね。ありがとうございました。

委員 先ほどの説明から、通常規模のデイサービスは市内に7事業所あるが、なかなか利用が伸びないと言われていたが、今後これらの事業所が定員の変更をして地域密着型になった場合はどのようになるのか。

事務局 制度の関係上、小規模になった場合は地域密着型になってしまうというのがあ

る。現状の通常規模では厳しいと判断された場合は、こちらの委員会に諮らせていただきますが、既存の事業所が地域密着型に移行するという場合はやむを得ないのではないかと考えております。

委員長 他にございませんか。ないようですので、これで本日の議題は終了いたしました。

閉 会

平成31年 4月 15日

委員長

澤井 英昭 

署名人

山口 雅隆 

署名人

松本 雅子 